

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和7年度九州管内港湾における自動係留装置導入の有効性に関する検討業務				
業務概要	業務名称	業務内容	単位	数量	摘要
	九州管内港湾における自動係留装置導入の有効性に関する検討業務				
	計画準備		式	1	
	資料収集・整理		式	1	3項目(想定)
	検討モデル港の設定		式	1	1ケース(想定)
	概略検討		式	1	4ケース(想定)
	検証		式	1	
	成果物	業務完成図書作成	式	1	
	協議・報告		回	3	事前協議1回 中間報告1回 最終報告1回
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官九州地方整備局副局長 坂井 功 福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-7				
契約年月日	令和7年6月12日				
契約業者名	令和7年度九州管内港湾における自動係留装置導入の有効性に関する検討業務エコー・日本海洋科学設計共同体				
契約業者の住所	東京都台東区北上野二丁目6番4号				
契約金額(税込)	¥15,444,000				
予定価格(税込)	¥15,444,000				
随意契約によることとした理由	<p>本業務を実施するにあたり、九州管内港湾における自動係留装置導入の有効性に関する検討を行う必要があるため、受注業者に対しては、1. 予定技術者の経験および能力(技術者資格、業務執行技術力等)、2. 業務実施方針(業務理解度、業務実施手順等)、3. 特定テーマに対する技術提案(的確性、実現性)等の観点からプロポーザルの提出を求めたものである。</p> <p>建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、エコー・日本海洋科学設計共同体が最適であると判断されることから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い業務の円滑な遂行を図るものとする。</p>				
業務場所	発注者指定の場所				
業種区分	建設コンサルタント等				
履行期間(自)	令和7年6月12日				
履行期間(至)	令和7年12月12日				
備考					